

編 集 後 記

- 2016年の西南学院創立100周年まであと1年となった。記念式典は、来年の5月14日(土)に福岡国際会議場で行い、その後の記念祝賀会はマリメッセ福岡で行う予定である。また、記念事業の一つである100周年記念館(仮称)を建築し、その中に学院史資料センターを開設することも決まった。
- 学院史資料センターの設置(2016年)や『西南学院百年史』の刊行(2017年)が近づき、事務量が增大したことで、紀要休刊もやむなしということになったが、紀要第10号は記録として残すべきものを中心にまとめ、簡易版として発行した。
- 中学校・高等学校の中根校長と伊原前校長に原稿をお願いした。中根校長は、1990年代の男女共学化と中高一貫教育への移行を内側から支えてきた教育実践のひとつであるカウンセリング制度などに言及され、伊原前校長は、自身が男女共学委員会委員であったことから、その経緯を詳しく執筆して下さった。共学化以降の西南学院高等学校の発展は目覚ましく、その後の中学校共学化と合わせて「福岡の受験地図を塗り替える台風の目」となったという事実は大きな出来事である。
- 学院史講演会は、2013年11月に実施されたものだが、パイプオルガン設置委員会の委員長であった古澤先生の貴重な講演であったため、改めてご執筆いただいた。文末の本学のオルガンによる演奏会一覧も重要な資料である。
- また、同じく、第4回から第7回の百年史研究会で発表された内容をまとめてご執筆いただいた。赤司先生や高松氏、シャフナー先生には、研究者ならではの発表をしていただき、意外な事実も判明した。この内容を紀要にまとめていただいたことに感謝したい。
- この紀要も10号を数えるようになった。紀要創刊当時は、学院創立100周年もまだ先の話だと思っていたが、いよいよ1年後に迫ってきており、ねじり鉢巻で取り組まなければならないと思っている。
(世戸口)

2015年5月12日 印刷

2015年5月15日 発行

編 集 西南学院百年史編纂委員会

発 行 学校法人西南学院

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号

印 刷 福岡印刷株式会社

〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目4番3号